

## 高岡市教育委員会 9 月定例会議事日程

日時：令和 6 年 9 月 26 日（木）

午後 1 時 30 分～

場所：高岡市役所 8 階 803 会議室

日程第 1 前回会議録の承認（8 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第 8 号 臨時代理の報告について  
（高岡市議会 9 月定例会に提出する議案に対する意見について）

日程第 4 議案第 28 号 高岡市教育委員会指定管理者選定委員会委員の委嘱について

日程第 5 議案第 29 号 令和 6 年度高岡市教育委員会教育功労者表彰について

日程第 6 その他

# 高岡市教育委員会令和6年8月定例会会議録

## 1. 開議・閉議年月日及び場所

令和6年8月28日(水)  
開会 午後1時30分  
閉会 午後2時10分  
高岡市役所8階803会議室

## 2. 教育長及び教育長職務代理人

|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| 教 育 長 | 近 藤 | 智 久 |
| 職務代理人 | 長 尾 | 順 子 |

## 3. 出席委員の氏名

|     |         |
|-----|---------|
| 1 番 | 藤 重 歩   |
| 2 番 | 土 田 一 清 |
| 3 番 | 成 瀬 隆 倫 |
| 4 番 | 長 尾 順 子 |

## 4. 欠席委員の氏名

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 教育長 | 近 藤 | 智 久 |
|-----|-----|-----|

## 5. 事務局出席者

|               |     |     |
|---------------|-----|-----|
| 教育次長          | 村 上 | 彰   |
| 教育総務課長        | 津 幡 | 佳 成 |
| 教育次長(事)学校教育課長 | 津 田 | 久   |
| 生涯学習・スポーツ課長   | 澤 田 | 剛 章 |
| 文化財保護活用課長     | 長 井 | 剛 志 |
| 教育委員会参与       | 鳥 内 | 禎 久 |

## 6. 傍聴者

なし

## 7. 書記の氏名

|     |     |
|-----|-----|
| 高 山 | 篤 志 |
| 表 野 | 春 香 |

【議事日程】

日程第 1 前回会議録の承認（7 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第 26 号 教育委員会の事務の点検及び評価について

日程第 4 議案第 27 号 高岡市公民館運営審議会委員の委嘱について

日程第 5 その他

# 会 議 要 旨

令和6年8月28日（水）

午後1時30分、長尾教育長職務代理者が開会を宣して議事審議に入る。

## 〔日程第1〕 前回会議録の承認

□ 先の7月定例会の会議録について、全出席委員が確認し、これに異議がなく、会議録として承認した。

## 〔日程第2〕 教育長報告

### 【学校教育課】

- ・9月行事予定（資料No.1）

### 【生涯学習・スポーツ課】

- ・9月行事予定（資料No.2）

委 員：先日、論理コミュニケーションの表彰式に出席した。大変有意義な活動であると感じた。その中で中学生から、自由に予約できる体育館が少ないという発言があった。

事務局：現在は施設ごとの団体予約となっている。大きい体育館だとイベントや大会利用などが多く、土日の利用率は高い状況。個人での利用の場合は、団体利用がなければ利用するため、個別に問い合わせていただく必要がある。

委 員：利用状況等の情報をどのように取得するかということになる。

事務局：今後、県との共同調達により、市内各施設の予約が一本化され、利用状況等の見える化が進むこととなるため、利便性は高まるものと考えている。

委 員：システムが運用される際には、市民に周知・広報をお願いしたい。日程を見るに、施設予約はかなり埋まっている状況である。子どもたちも利用しやすいような仕組み作りが重要である。東洋通信スポーツセンターの利用再開の見込みは。

事務局：本年10月末までには利用を再開できるようにしたいと考えている。

□ 全出席委員これに異議がなく、報告のとおり了承した。

## 〔日程第3〕 議案第26号 教育委員会の事務の点検及び評価について

委 員：報告書全体についてだが、それぞれの項目に対し評価の理由が付されたことに

より、大変見やすくすっきりとした。

委員：非常に分かりやすく仕上がっている。次につながる形になっていると思う。是非この形を継続していただきたい。

委員：スポーツ振興について。子どもたちが一流の選手と触れ合える場づくりを進めていただきたい。

事務局：今年度から県内のプロスポーツチームが開催する子どもたちへのスポーツ教室を支援する予算を計上している。子どもたちを育てていく環境づくりを進めていきたい。

委員：小中一貫教育について。本市は先導的な取り組みとして進めている。今後は一貫教育の成果なども積極的に発信してもらいたい。

委員：教育総合支援センターについて。今後の教育の鍵となる部分だと感じている。不登校という言葉は、言葉が持つイメージや言葉に対する意識が急速に変化してきている。センターが、行ってみようかなという場所、環境になるよう、現場の声を聞きながら進めていただきたい。

事務局：より気軽な空間となるよう、また、足の向かない子どもたちにはＩＣＴも活用しながら対応できる場となるよう取り組んでいきたい。また、保護者からの相談にも専門性の高い相談員を配するなど、適切に対応してまいりたい。

☐ 全出席委員これに異議がなく、原案のとおり了承した。

#### 〔日程第４〕 議案第 27 号 高岡市公民館運営審議会委員の委嘱について

☐ 全出席委員これに異議がなく、原案のとおり了承した。

#### 〔日程第５〕 その他

☐ 他に意見はなく、了承した。

午後 2 時 10 分、議事が終了したので教育長職務代理者が閉会を宣した。

## 教育長報告

### 【学校教育課】

- ・ 10 月行事予定（資料No. 1）
- ・ 令和 6 年度卒業式並びに令和 7 年度 1 学期始業式及び入学式の期日について（資料No. 2）

### 【生涯学習・スポーツ課】

- ・ 10 月行事予定（資料No. 3）
- ・ 令和 7 年高岡市「二十歳の集い」の開催について（資料No. 4）

10月主要行事予定表(仮)

高岡市教育委員会 学校教育課（2024 年度）

| 日  | 曜 | 全 体 関 係                   | 小 学 校・国吉義務教育学校(前期) |                        |                      |                         |                        |                       | 中 学 校<br>国吉義務教育学校<br>(後期)<br>こまどり支援学校 | 教育センター<br>少年育成センター                   | 日  |
|----|---|---------------------------|--------------------|------------------------|----------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|----|
|    |   |                           | 第1<br>国吉 五位<br>福岡  | 第2<br>博労 高岡西部<br>南条 木津 | 第3<br>成美 万葉<br>能町    | 第4<br>高陵 下関<br>二塚 野村    | 第5<br>伏木 古府<br>牧野 太田   | 第6<br>戸出東部 戸出西部<br>中田 |                                       |                                      |    |
| 1  | 火 | 14 歳の挑戦(南星)～10/4          |                    |                        |                      |                         |                        |                       | ㊦ 高岡西部・福岡<br>こまどり(～9/7)<br>㊦ 志貴野      |                                      | 1  |
| 2  | 水 |                           |                    |                        |                      |                         |                        | ㊦ 戸出東部                | ㊦ 五位・戸出<br>㊦ 南星                       |                                      | 2  |
| 3  | 木 | 献立研究委員会                   |                    |                        |                      | ㊦ 野村                    |                        | ㊦ 戸出西部                | ㊦ こまどり<br>㊦ 高陵<br>㊦ 芳野                |                                      | 3  |
| 4  | 金 | 中学校長会<br>万葉朗唱の会(～9/6)     |                    |                        |                      |                         |                        |                       | ㊦ 志貴野                                 | 地区相談会⑧<br>(13:30 戸出コミュ)<br>㊦ スポーツ交流会 | 4  |
| 5  | 土 | 県中学校駅伝競走大会                | ㊦ 福岡<br>五位         | ㊦ 高岡西部                 | ㊦ 万葉                 | ㊦ 二塚                    | ㊦ 太田<br>古府             |                       |                                       | 万葉朗唱の会参加                             | 5  |
| 6  | 日 | 県中学校文化祭                   |                    | ㊦ 博労                   | ㊦ 能町                 |                         |                        |                       |                                       |                                      | 6  |
| 7  | 月 |                           | ㊦ 福岡<br>五位         | ㊦ 博労<br>高岡西部           | ㊦ 万葉<br>能町           | ㊦ 二塚                    | ㊦ 太田<br>古府             |                       | ㊦ 中田<br>㊦ 高陵<br>㊦ 伏木                  |                                      | 7  |
| 8  | 火 |                           | ㊦ 国吉義務             | ㊦ 南条<br>木津・博労<br>高岡西部  | ㊦ 成美<br>万葉           |                         |                        |                       | ㊦ 戸出                                  | ㊦ 体育活動                               | 8  |
| 9  | 水 | 小学校長会                     |                    |                        |                      |                         | 創 古府<br>身 太田           |                       | ㊦ 牧野<br>㊦ 南星                          |                                      | 9  |
| 10 | 木 | 県中教研大会(教科、保健)             |                    | ㊦ 高岡西部                 |                      |                         |                        | ㊦ 戸出東部                |                                       | 訪問研修                                 | 10 |
| 11 | 金 |                           | ㊦ 福岡<br>五位         | ㊦ 高岡西部                 | ㊦ 万葉<br>㊦ 成美<br>㊦ 能町 | ㊦ 二塚                    | ㊦ 古府<br>㊦ 牧野           |                       |                                       |                                      | 11 |
| 12 | 土 | 高岡地区新人大会                  |                    |                        |                      | ㊦ 高陵                    |                        |                       |                                       |                                      | 12 |
| 13 | 日 | 県 Jr オリンピック陸上大会           |                    |                        |                      | ㊦ 下関                    | ㊦ 伏木                   | ㊦ 戸出西部                |                                       |                                      | 13 |
| 14 | 月 | (スポーツの日)                  |                    |                        |                      |                         |                        |                       |                                       |                                      | 14 |
| 15 | 火 |                           |                    |                        |                      | ㊦ 高陵<br>下関<br>㊦ 二塚      | ㊦ 伏木                   | ㊦ 戸出西部                | ㊦ 芳野                                  | ㊦ 体育活動                               | 15 |
| 16 | 水 | 県中教研大会(道徳、特活、特支教育)        | ㊦ 五位               | ㊦ 高岡西部                 | ㊦ 能町                 | ㊦ 下関<br>二塚              | ㊦ 太田<br>㊦ 太田・伏木・<br>古府 |                       |                                       |                                      | 16 |
| 17 | 木 | 学事研企画運営研修会<br>施設衛生委員会     |                    | ㊦ 博労                   | ㊦ 能町                 | ㊦ 高陵<br>㊦ 高陵・野村<br>㊦ 二塚 |                        | ㊦ 戸出西部<br>戸出東部・中田     | ㊦ 牧野<br>㊦ 芳野                          |                                      | 17 |
| 18 | 金 |                           | ㊦ 福岡<br>㊦ 五位       |                        |                      | ㊦ 下関<br>㊦ 二塚            |                        |                       | ㊦ 芳野                                  | SSW ケース研修会②<br>(市役所)                 | 18 |
| 19 | 土 | 中教研理科学習発表会<br>市中文化祭       | ㊦ 国吉義務             | ㊦ 南条<br>木津             | ㊦ 成美                 |                         | ㊦ 牧野                   | ㊦ 戸出東部                | ㊦ こまどり・国吉義務                           |                                      | 19 |
| 20 | 日 |                           |                    |                        |                      | ㊦ 野村                    |                        | ㊦ 中田                  |                                       |                                      | 20 |
| 21 | 月 | 14 歳の挑戦(五位・志貴野)<br>～10/25 | ㊦ 国吉義務             | ㊦ 南条<br>木津             | ㊦ 成美                 | ㊦ 野村                    | ㊦ 太田<br>㊦ 牧野           | ㊦ 戸出東部・<br>中田         | ㊦ こまどり・国吉義務                           |                                      | 21 |
| 22 | 火 |                           | ㊦ 福岡               |                        | ㊦ 能町                 | ㊦ 高陵                    |                        | ㊦ 戸出西部                | ㊦ 国吉義務                                |                                      | 22 |
| 23 | 水 |                           |                    |                        | ㊦ 成美<br>㊦ 万葉         | ㊦ 野村                    | ㊦ 古府                   |                       |                                       |                                      | 23 |
| 24 | 木 |                           | ㊦ 国吉義務<br>㊦ 五位     | ㊦ 木津                   | ㊦ 能町                 | ㊦ 二塚                    | ㊦ 伏木                   | ㊦ 戸出西部<br>㊦ 中田        | ㊦ 五位<br>㊦ こまどり<br>㊦ 芳野                |                                      | 24 |
| 25 | 金 |                           | ㊦ 福岡               |                        | ㊦ 万葉                 | ㊦ 高陵                    | ㊦ 太田                   |                       | ㊦ こまどり                                |                                      | 25 |
| 26 | 土 |                           |                    |                        |                      |                         |                        |                       | ㊦ 高岡西部・<br>中田・南星・高陵<br>戸出・伏木・福岡       |                                      | 26 |
| 27 | 日 |                           |                    |                        |                      |                         |                        |                       |                                       | 社会奉仕活動                               | 27 |
| 28 | 月 |                           |                    | ㊦ 南条<br>㊦ 博労<br>㊦ 高岡西部 | ㊦ 能町                 | ㊦ 高陵                    |                        | ㊦ 中田                  | ㊦ 高岡西部・中田・<br>南星・高陵・戸出・伏木<br>福岡       | ㊦ ㊦                                  | 28 |
| 29 | 火 | こころの劇場(6年生)               |                    |                        |                      |                         |                        | ㊦ 中田                  | ㊦ 牧野<br>㊦ こまどり・戸出<br>㊦ 芳野             | ㊦ 体育活動                               | 29 |
| 30 | 水 | 定例教育委員会                   | ㊦ 国吉義務<br>㊦ 福岡     |                        |                      | ㊦ 高陵<br>㊦ 下関            |                        | ㊦ 戸出西部                | ㊦ こまどり                                | I C T活用推進委員会<br>③ (15：30 守護町)        | 30 |
| 31 | 木 |                           | ㊦ 国吉義務<br>㊦ 福岡     | ㊦ 木津                   |                      | ㊦ 野村                    | ㊦ 牧野                   | ㊦ 戸出西部                | ㊦ 中田<br>㊦ 芳野                          |                                      | 31 |

創 創立記念日(式)    ㊦ 校外学習    ㊦ 交流学习(交流会)    ㊦ 学習・文化活動発表会・学校祭    ㊦ 合唱コンクール    ㊦ 校内マラソン大会  
㊦ 学校訪問研修会・要請訪問研修会    ㊦ 中間考査    ㊦ 就学時健康診断    ㊦ 繰替休業    ㊦ ものづくりデザイン科実習・見学(校外)  
㊦ 適応指導教室    ㊦ 出前講座(授業)・講演会・講習会    ㊦ 芸術鑑賞会・演奏会・ワークショップ    ㊦ 身体計測・視力測定・歯科検診  
㊦ ファイアーパーク    ㊦ 授業参観    ㊦ 防災・避難訓練・引き渡し訓練

事 務 連 絡  
令和 6 年 9 月 26 日

所 属 長 様

高岡市教育委員会  
学校教育課長 津田 久

令和 6 年度卒業式 並びに  
令和 7 年度第 1 学期始業式 及び 入学式の期日について

このことについて、下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

記

1 令和 6 年度卒業式

小 学 校 . . . . . 令和 7 年 3 月 1 7 日 (月)  
中・義務教育・特別支援学校 . . . . . 令和 7 年 3 月 1 3 日 (木)

2 令和 7 年度 1 学期始業式

小・中・義務教育・特別支援学校 . . . . . 令和 7 年 4 月 7 日 (月)

3 令和 7 年度入学式

小・義務教育学校 . . . . . 令和 7 年 4 月 8 日 (火)  
中・特別支援学校 . . . . . 令和 7 年 4 月 9 日 (水)

4 その他

令和 6 年度離任式

小・中・義務教育・特別支援学校 . . . . . 令和 7 年 4 月 9 日 (水) 午後

\* 高岡市公式ホームページ

子育て・教育＞小中学校＞お知らせ＞始業式・終業式・入学式・卒業式の日程  
に掲載します。



## 令和6年10月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

| 施設名 |    | 時間 | 行事日程 |
|-----|----|----|------|
| 日   | 曜日 |    |      |

## 城光寺野球場・城光寺補助競技場

|       |     |       |                                        |
|-------|-----|-------|----------------------------------------|
| 5・6   | 土・日 | 8:00～ | 学童呉西地区新人大会                             |
| 12・13 | 土・日 | 8:00～ | 高岡地区中学校新人大会                            |
| 14    | 月   | 8:00～ | 高岡ケーブルネットワークカップ少年野球大会                  |
| 19・20 | 土・日 | 8:00～ | 令和7年東日本軟式野球（一部）富山県大会                   |
| 26・27 | 土・日 | 8:00～ | 2024 TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジin高岡万葉 |

## 城光寺陸上競技場

|       |     |            |                                        |
|-------|-----|------------|----------------------------------------|
| 14    | 月   | 9:00～17:00 | 「スポーツの日」無料開放                           |
| 26・27 | 土・日 | 8:00～      | 2024 TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジin高岡万葉 |

## 万葉スポーツセンター

|    |   |             |                     |
|----|---|-------------|---------------------|
| 13 | 日 | 8:00～15:00  | 第39回高岡市ビーチボール連盟秋季大会 |
| 14 | 月 | 12:00～17:00 | 「スポーツの日」無料開放        |

## スポーツコア（テニスコート）

|       |     |             |                               |
|-------|-----|-------------|-------------------------------|
| 3     | 木   | 9:00～17:00  | ウィークデー杯テニス大会（一般）              |
| 4     | 金   | 9:00～15:00  | 北陸シニアテニス秋季大会（一般）              |
| 5     | 土   | 9:00～18:00  | 北信越学生ソフトテニス選手権大会（大学生）         |
| 6・7   | 日・月 | 9:00～18:00  | 北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会         |
| 12    | 土   | 9:00～17:00  | 高岡地区中学校新人大会ソフトテニス             |
| 13    | 日   | 9:00～18:00  | 秋吉カップ争奪クラブ対抗戦テニス大会（一般）        |
| 19    | 土   | 12:00～18:00 | 富山県高校秋季ソフトテニス選手権大会呉西地区        |
| 20    | 日   | 9:00～17:00  | ビギナーズ・ダブルス&ミックス・ダブルステニス大会（一般） |
| 26・27 | 土・日 | 9:00～18:00  | 富山県高校秋季ソフトテニス選手権大会            |

## スポーツコア（サッカー・ラグビー場）

|                     |     |                           |                     |
|---------------------|-----|---------------------------|---------------------|
| 5・6・19・20・<br>26・27 | 土・日 | 9:00～21:00<br>16:00～21:00 | 全日本 U-12サッカー選手権富山大会 |
| 12・14               | 土・月 | 9:00～16:00                | 高岡地区中学校新人大会サッカー     |
| 13                  | 日   | 9:00～16:00                | ラグビー北陸3県不惑大会（一般）    |
| 19                  | 土   | 10:00～14:00               | 全国高校ラグビー富山県大会準決勝    |
| 26                  | 土   | 13:00～17:00               | ジュニアラグビー交流会         |

## 東洋通信スポーツセンター（高岡市民体育館）

※臨時休館中

## 竹平記念体育館

|    |   |            |                      |
|----|---|------------|----------------------|
| 7  | 月 | 8:30～21:00 | 大相撲高岡場所              |
| 13 | 日 | 8:00～17:00 | 第58回バドミントンクラブ高岡リーグ   |
| 18 | 金 | 8:30～15:00 | 高岡射水氷見地区ふれあい育成スポーツ大会 |
| 26 | 土 | 7:30～18:00 | 富山県高校新人バドミントン大会      |
| 27 | 日 | 8:00～17:00 | JBDF富山県ダンス競技会        |

## 高岡武道館

|    |   |            |              |
|----|---|------------|--------------|
| 14 | 月 | 9:00～17:00 | 「スポーツの日」無料開放 |
|----|---|------------|--------------|

## 前庭球場

|    |   |            |                   |
|----|---|------------|-------------------|
| 6  | 日 | 9:00～17:00 | 高岡市ジュニア交流大会ソフトテニス |
| 14 | 月 | 9:00～17:00 | 「スポーツの日」無料開放      |

## 高岡西部総合公園（野球場）

|          |       |       |               |
|----------|-------|-------|---------------|
| 5・6・7    | 土・日・月 | 8:00～ | 2024秋季Ⅰ部大学リーグ |
| 12       | 土     | 8:00～ | 学童呉西地区新人大会    |
| 13・14    | 日・月   | 8:00～ | 高岡市民ソフトボール大会  |
| 19・26・27 | 土・日   | 8:00～ | 高校一年生大会       |

# 令和6年10月主要行事予定（スポーツ関係） 生涯学習・スポーツ課

| 施設名 |    | 時間 | 行事日程 |
|-----|----|----|------|
| 日   | 曜日 |    |      |

## 高岡西部総合公園（多目的広場）

|  |  |  |           |
|--|--|--|-----------|
|  |  |  | 野球場使用者と同様 |
|--|--|--|-----------|

## 高岡西部総合公園（室内多目的スペース）

|  |  |  |           |
|--|--|--|-----------|
|  |  |  | 野球場使用者と同様 |
|--|--|--|-----------|

## 福岡グラウンド

|             |     |             |                       |
|-------------|-----|-------------|-----------------------|
| 6・13・20・27  | 日   | 17:00～20:00 | 石澤杯福岡町野球大会            |
| 19・20・26・27 | 土・日 | 8:00～17:00  | 高岡ケーブルネットワークカップ少年野球大会 |

## ふくおか総合文化センター

|    |   |            |                     |
|----|---|------------|---------------------|
| 6  | 日 | 9:00～17:00 | ふくおかスポーツの集い         |
| 10 | 木 | 9:00～17:00 | 高岡市老人クラブ連合会カローリング大会 |
| 13 | 日 | 9:00～17:00 | 第22回メルヘンカップビーチボール大会 |
| 14 | 月 | 9:00～17:00 | ドッジボール交流戦（小学生）      |
| 20 | 日 | 9:00～17:00 | 第1回カデットポイント戦（卓球）    |

# 令和6年10月主要行事予定（文化関係） 生涯学習・スポーツ課

| 施設名 |    | 時間 | 行事名 |
|-----|----|----|-----|
| 日   | 曜日 |    |     |

## 生涯学習センター

|          |     |             |                                                                                                          |
|----------|-----|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3        | 木   | 14:00～15:30 | 大学連携講座 富山短期大学公開講座<br>「なぜ、食塩を摂りすぎると高血圧になるの？」<br>講師：川口 将史（食物栄養学科 准教授）<br>開催場所：生涯学習センター5階 研修室503<br>定員 30名  |
| 9        | 水   | 14:00～15:30 | 我執と救い～信仰・政治・文学の軋みと愛の歪み～<br>講師：立野 幸雄（元富山県立図書館長）<br>開催場所：生涯学習センター5階 研修室503<br>定員 50名<br>※全3回（内2回は11月に開催予定） |
| 17・18    | 木・金 | 13:30～15:00 | 勝興寺現地講座<br>第1回（10月17日（木））、第2回（10月18日（金））<br>講師：高田 克宏（（公財）勝興寺文化財保存・活用事業団専務理事・学芸員）<br>開催場所：勝興寺<br>定員 各日30名 |
| 26       | 土   | 10:00～12:30 | 料理講座「簡単な冬の懐石 その2」<br>講師：川田 幹子（水月文華学園 園長）<br>開催場所：生涯学習センター キッチンサロン<br>定員 15名                              |
| 12・19・26 | 土   | 10:00～11:00 | 小中学生対象講座 能楽講座<br>講師：山崎 健（仕舞・歌謡）<br>上田 博（太鼓）<br>瀬賀 尚義（笛）<br>開催場所：文化芸能館3階『能舞台』<br>定員 各15名                  |

## 令和 7 年高岡市二十歳の集いの開催について

未来を担う二十歳の新たな門出を祝い励まし、今年度中に二十歳に到達する者が、改めて大人になったことを自覚するとともに、「ふるさと高岡」への愛着や人とのつながりを深める機会とするため、次のとおり、令和 7 年高岡市二十歳の集いを開催する。

(1) **開催日時** 令和 7 年 1 月 12 日（日）（成人の日の前日）午前 10 時 30 分～

(2) **会 場** 中学校区ごとに 12 会場 ※対象者数 1,429 名（9 月 1 日現在）

|    | 中学校区 | 会場                     |
|----|------|------------------------|
| 1  | 高陵   | 富山県高岡文化ホール 多目的 小ホール    |
| 2  | 高岡西部 | 高岡市生涯学習センター 4 階ホール     |
| 3  | 南星   | 高岡市ふれあい福祉センター 多目的ホール   |
| 4  | 志貴野  | 高岡商工ビル 2 階大ホール         |
| 5  | 芳野   | 高岡エクール エクールホール         |
| 6  | 伏木   | 高岡市伏木コミュニティセンター 多目的ホール |
| 7  | 国吉   | 高岡市里山交流センター 多目的ホール     |
| 8  | 牧野   | 高岡市立牧野中学校 体育館          |
| 9  | 五位   | 高岡市立五位小学校 体育館          |
| 10 | 戸出   | 高岡市戸出コミュニティセンター 多目的ホール |
| 11 | 中田   | 高岡市中田コミュニティセンター 多目的ホール |
| 12 | 福岡   | 高岡市ふくおか総合文化センター 文化ホール  |

(3) **実施方法** 高岡市と二十歳の集い対象者を中心とした各中学校区の実行委員会が企画・運営

(4) **予 備 日** 大雪等により 1 月に開催できなかった場合は、令和 7 年 5 月 4 日（日）に開催する。

※高陵中学校区については、会場を変更し開催する。

| 中学校区 | 予備日の会場        |
|------|---------------|
| 高陵   | 高岡市立高陵中学校 体育館 |

報告第 8 号

臨時代理の報告について

高岡市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成 17 年高岡市教育委員会規則第 8 号）第 4 条の規定に基づき、令和 6 年 8 月 29 日付けで下記事項について臨時代理したので第 6 条第 2 項の規定により報告する。

令和 6 年 9 月 26 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

記

高岡市議会 9 月定例会に提出する議案に対する意見について  
・令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 3 号）

## 議案第106号

### 令和6年度高岡市一般会計補正予算（第3号）

令和6年度高岡市の一般会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

#### （歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,193,193千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ83,027,357千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

#### （地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

令和6年9月6日提出

高岡市長 角 田 悠 紀

第 1 表 歳入歳出予算補正

## 歳 入

| 款              | 項           | 既 定 額      | 補 正 額     | 計          |
|----------------|-------------|------------|-----------|------------|
|                |             | 千円         | 千円        | 千円         |
| 13 分担金及び負担金    |             | 1,227,466  | 9,225     | 1,236,691  |
|                | 1 分 担 金     | 4,000      | 9,000     | 13,000     |
|                | 2 負 担 金     | 1,223,466  | 225       | 1,223,691  |
| 14 使用料及び手数料    |             | 1,465,182  | 12,771    | 1,477,953  |
|                | 1 使 用 料     | 1,099,874  | 12,771    | 1,112,645  |
| 15 国 庫 支 出 金   |             | 13,798,656 | 48,107    | 13,846,763 |
|                | 2 国 庫 補 助 金 | 6,137,175  | 48,107    | 6,185,282  |
| 16 県 支 出 金     |             | 5,448,283  | 87,101    | 5,535,384  |
|                | 2 県 補 助 金   | 1,822,388  | 85,643    | 1,908,031  |
|                | 3 委 託 金     | 354,237    | 1,458     | 355,695    |
| 19 繰 入 金       |             | 4,340,326  | 43,147    | 4,383,473  |
|                | 1 基 金 繰 入 金 | 4,255,062  | 43,147    | 4,298,209  |
| 20 繰 越 金       |             | 250,104    | 935,382   | 1,185,486  |
|                | 1 繰 越 金     | 250,104    | 935,382   | 1,185,486  |
| 21 諸 収 入       |             | 4,109,477  | 4,860     | 4,114,337  |
|                | 5 雑 入       | 1,381,961  | 4,860     | 1,386,821  |
| 22 市 債         |             | 7,022,000  | 52,600    | 7,074,600  |
|                | 1 市 債       | 7,022,000  | 52,600    | 7,074,600  |
| 補正されなかった款項に係る額 |             | 44,172,670 | 0         | 44,172,670 |
| 歳 入 合 計        |             | 81,834,164 | 1,193,193 | 83,027,357 |

## 歳 出

| 款       | 項           | 既 定 額      | 補 正 額   | 計          |
|---------|-------------|------------|---------|------------|
|         |             | 千円         | 千円      | 千円         |
| 2 総 務 費 |             | 7,530,308  | 940,426 | 8,470,734  |
|         | 1 総 務 管 理 費 | 6,395,369  | 938,968 | 7,334,337  |
|         | 4 選 挙 費     | 52,711     | 1,458   | 54,169     |
| 3 民 生 費 |             | 27,838,284 | 35,648  | 27,873,932 |
|         | 1 社 会 福 祉 費 | 10,363,973 | 2,145   | 10,366,118 |
|         | 2 児 童 福 祉 費 | 11,612,180 | 33,503  | 11,645,683 |

| 款                           | 項                          | 既 定 額      | 補 正 額     | 計          |
|-----------------------------|----------------------------|------------|-----------|------------|
| 4 衛 生 費                     |                            | 7,989,818  | 1,509     | 7,991,327  |
|                             | 3 清 掃 費                    | 4,225,672  | 1,509     | 4,227,181  |
| 6 農 林 水 産 業 費               |                            | 1,028,702  | 1,370     | 1,030,072  |
|                             | 1 農 業 費                    | 367,674    | 250       | 367,924    |
|                             | 2 農 地 費                    | 454,571    | 1,120     | 455,691    |
| 7 商 工 費                     |                            | 5,568,014  | 35,750    | 5,603,764  |
|                             | 1 商 工 費                    | 5,568,014  | 35,750    | 5,603,764  |
| 8 土 木 費                     |                            | 9,515,747  | 20,000    | 9,535,747  |
|                             | 6 住 宅 費                    | 661,232    | 20,000    | 681,232    |
| 10 教 育 費                    |                            | 7,191,460  | 15,137    | 7,206,597  |
|                             | 5 社 会 教 育 費                | 1,120,733  | 3,134     | 1,123,867  |
|                             | 6 保 健 体 育 費                | 1,494,642  | 12,003    | 1,506,645  |
| 11 災 害 復 旧 費                |                            | 1,035,420  | 143,353   | 1,178,773  |
|                             | 1 農 林 水 産 施 設<br>災 害 復 旧 費 | 11,000     | 143,353   | 154,353    |
| 補 正 さ れ な か っ た 款 項 に 係 る 額 |                            | 14,136,411 | 0         | 14,136,411 |
| 歳 出 合 計                     |                            | 81,834,164 | 1,193,193 | 83,027,357 |

第 2 表 地 方 債 補 正

変 更

| 起 債 の 目 的                | 補 正 前        |                     |                                                                                                     |                                                                                                                   | 補 正 後        |           |     |           |
|--------------------------|--------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------|-----|-----------|
|                          | 限 度 額        | 起 債 の 方 法           | 利 率                                                                                                 | 償 還 の 方 法                                                                                                         | 限 度 額        | 起 債 の 方 法 | 利 率 | 償 還 の 方 法 |
| 農 地 債                    | 千円<br>75,600 | 普通貸借<br>又 は<br>証券発行 | 3.0以内<br>ただし、利<br>率見直し方<br>式で借り入<br>れる資金に<br>ついて、利<br>率の見直し<br>を行った後<br>において<br>は、当該見<br>直し後の利<br>率 | 借入れ先<br>の融通条件<br>による。た<br>だし、市財<br>政の都合に<br>より据置期<br>間及び償還<br>期限を短縮<br>し、若しくは繰上<br>償還し、又<br>は借り換<br>えること<br>ができる。 | 千円<br>76,400 | 同 左       | 同 左 | 同 左       |
| 農 林 水 産 施 設<br>災 害 復 旧 債 | 3,200        |                     |                                                                                                     |                                                                                                                   | 55,000       |           |     |           |

予算説明書

(款) 10 教育費

(項) 5 社会教育費

(単位：千円)

| 目        | 補 正 前       | 補 正 額  | 計           | 補正額の財源内訳 |     |     | 節      |               | 説明     |                                 |
|----------|-------------|--------|-------------|----------|-----|-----|--------|---------------|--------|---------------------------------|
|          |             |        |             | 特定財源     |     |     | 一般財源   | 区分            |        | 金額                              |
|          |             |        |             | 国県支出金    | 地方債 | その他 |        |               |        |                                 |
| 2 文化財保護費 | 181, 910    | 3, 134 | 185, 044    | 0        | 0   | 0   | 3, 134 | 18 負担金補助及び交付金 | 3, 134 | 国宝及び重要文化財（建造物）災害復旧事業費<br>3, 134 |
| 計        | 1, 120, 733 | 3, 134 | 1, 123, 867 | 0        | 0   | 0   | 3, 134 |               |        |                                 |

(項) 6 保健体育費

|         |           |        |           |   |   |              |       |          |        |                     |
|---------|-----------|--------|-----------|---|---|--------------|-------|----------|--------|---------------------|
| 3 体育施設費 | 782,114   | 12,003 | 794,117   | 0 | 0 | 4,800        | 7,203 | 17 備品購入費 | 12,003 | 体育施設改修等整備事業費 12,003 |
|         |           |        |           |   |   | 諸収入<br>4,800 |       |          |        |                     |
| 計       | 1,494,642 | 12,003 | 1,506,645 | 0 | 0 | 4,800        | 7,203 |          |        |                     |



## 日程第4

議案第 28 号

高岡市教育委員会指定管理者選定委員会委員の委嘱について

高岡市教育委員会指定管理者選定委員会委員を次のとおり委嘱する。

令和 6 年 9 月 26 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

| 氏 名    | 性別 | 所属団体等名称  |
|--------|----|----------|
| 中村 総一郎 | 男  | 税理士      |
| 高倉 史人  | 男  | 高岡法科大学教授 |

(任期 令和 6 年 9 月 26 日から令和 8 年 9 月 25 日まで)

議案第 29 号

令和 6 年度高岡市教育委員会教育功労者表彰について

令和 6 年度の高岡市教育委員会教育功労者表彰を下記のとおりとする。

令和 6 年 9 月 26 日提出

高岡市教育委員会教育長 近藤 智久

記

受賞者 別紙名簿のとおり

## 日程第 6-1

定例教育委員会資料  
令和 6 年 9 月 26 日  
教育委員会文化財保護活用課

### 高岡再発見プログラム「たかおか解体新書」第 2 弾について

市内の文化財や文化施設等の見学を通して、ふるさとのよさを実感し、高岡市の歴史と文化に誇りと愛着をもつ児童の育成を目的に、昨年度から高岡再発見プログラム「たかおか解体新書」として、テーマに沿って 5 つの施設を巡るスタンプラリー実施している。

今年度は「たかおかのものづくり 2 漆器・菅笠編」として、第 1 弾の鋳物編に引き続きものづくりをテーマとする。

#### 1 内容

|       | 内容           | スタンプ箇所       |
|-------|--------------|--------------|
| 漆器編 1 | 高岡漆器の始まりと御車山 | 高岡御車山会館      |
| 漆器編 2 | 高岡漆器の発展と技法   | 高岡地域地場産業センター |
| 菅笠編 1 | 越中福岡の菅笠      | 福岡歴史民俗資料館    |
| 菅笠編 2 | 福岡菅笠の繁栄と現在   | 雅楽の館         |
| 番外編   | 古代のものづくり     | 埋蔵文化財センター    |



イメージ

2 対象 市内小・義務教育・特別支援学校に在籍している 3 ～ 6 年生

3 期間 10 月末から令和 7 年 3 月 31 日まで（別途学校に案内予定）

4 参考 令和 5 年度 たかおかものづくり 1 鋳物編

|           | 内容             | スタンプ箇所       |
|-----------|----------------|--------------|
| Episode 1 | 高岡鋳物の始まり       | 鋳物資料館        |
| Episode 2 | 高岡鋳物の進出と北前船    | 伏木北前船資料館     |
| Episode 3 | 花開く高岡銅器        | 市立博物館        |
| Episode 4 | 銅器のまち高岡の象徴高岡大仏 | 大仏寺          |
| Episode 5 | 高岡銅器の復興と繁栄     | 高岡地域地場産業センター |

令和 6 年 9 月定例会での質問及び答弁の概要（教育委員会関係）

○代表質問 令和 6 年 9 月 12 日（木）  
○一般質問（一括方式） 令和 6 年 9 月 18 日（水）、19 日（木）

教育総務課

|   | 質問                                                                                                        | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 方式 |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 | ・行財政運営について<br>「今後 10 年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」に基づき、学校の再編統合を進めているが、昨今の物価高騰や空き校舎の利活用等を踏まえた今後の見通しは。<br>（教育長） | <p>近年、建築資材単価や労務単価が上昇するなど、施設の整備や改修に係る費用が年々かさんできており、今後予定している学校の再編統合に伴う整備等においても、それらの影響を少なからず受けるものと見込んでいる。</p> <p>このような中ではあるが、本市の未来を担う子供たちの教育環境を充実させるため、物価動向等を注視しつつ、所要の予算確保や国補助の活用に努めるとともに、市の財政規律を維持しながら、学校の再編方針に沿って、整備を着実に進めていきたいと考えている。</p> <p>また、本市が抱える教育課題を解決するため、旧平米小学校の一部を活用して（仮称）教育総合支援センターの整備を進めているところであるが、これについても本市の教育環境の充実のため、物価動向や市の財政状況等に配慮しながら取り組んでまいりたい。</p> | 代表 |
| 2 | ・災害から市民の命と暮らしを守るための安全・安心対策について<br>災害時に避難所となる学校体育館への空調設備の設置を早急に進めては。<br>（教育長）                              | <p>体育館のように広い空間に対して空調設備を設置することについては、十分な冷暖房を実現するために、多額の設置費用を要することが見込まれるとともに、光熱費を始め、学校施設全体の維持管理費用にも影響することから、学校の体育館へのエアコン設置は、なかなか難しいと考えている。</p> <p>能登半島地震において避難所を設置した際は、空調が整備されている教室等をいち早く開放し、利用することで、避難者の寒さ対策を行うことができた。避難所の運営を踏まえると、校舎部分を利用することで、女性や高齢者をはじめとした要配慮者に細やかな配慮が可能となるといった利点も考えられることから、今後も避難所開設時には避難者の体調等に応じて校舎部分も活用しながら、柔軟に対応してまい</p>                           | 代表 |
| 3 | ・学校施設を含めた公共施設のあり方について<br>(1) 複数の小学校跡地利用について、明確に市民に示す時期に入っていると思うが、見解は。                                     | <p>これまでの学校の再編統合により閉校した学校のうち、旧平米小学校の新校舎部分及び土地の一部については、（仮称）教育総合支援センターの設置に向けた設計に取り掛かっている。また、旧平米小学校の未利用の部分及び旧横田小学校においては、現在、民間での活用を目的とした公募型プロポーザルを行っているところである。</p> <p>その他の学校跡地及び建物の活用についても、市の重要施策やまち</p>                                                                                                                                                                    | 代表 |

|   |                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |
|---|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|   | (教育長)                                                             | づくりの方向性との整合性、公共施設マネジメントや市の財政負担など、様々な観点から全庁的な協議を行っているところである。跡地活用については、市全体としてのまちづくりの視点が不可欠であり、それぞれの地域の特性や立地条件などを踏まえた検討を行いながら、適切な時期に活用の方角性をお示ししてまいりたいと考えている。                                                                                                                                                                               |    |
| 4 | (2) 空き校舎の活用の検討と再編統合を同時に進めると仄聞しているが、今後の学校再編はどのように進めていくのか。<br>(教育長) | <p>これまでの学校の再編統合の取組みにおいては、新たな学校づくりの着実な推進が最優先との考えのもと、跡地活用の議論が先行して混乱が生じることのないよう、まずは新たな学校開設に係る準備等を先行して進めてきた。</p> <p>しかしながら、市全体としてのまちづくり、地域づくりは市の重要な課題である中、教育委員会としても跡地活用について、よりスピード感を持って取り組む必要があるのではないかと感じているところである。そのため、今後取り組む再編統合においては、教育環境の充実を図ることを優先させながらも、その協議の早い段階から地域の方々に跡地活用に関する一定の市の考え方をお示しするなど、跡地活用の議論についてもあわせて進めることも考えてまいりたい。</p> | 代表 |
| 5 | ・ 空き校舎<br>空き校舎利活用の過程の中で、住民の声を反映させる考えは。<br>(教育長)                   | 跡地の利活用については、これまでも、それぞれの地域の特性や立地条件などを踏まえた全庁的な検討を行い、市の方向性がある程度まとまった段階で、地域の方々に市の考え方をお示し、ご意見をうかがいながら進めてきたものである。今後も引き続き、丁寧かつ慎重に進めてまいりたいと考えている。                                                                                                                                                                                               | 一括 |

## 学校教育課

|   | 質問                                                                                                     | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 方式 |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 | ・ 公共施設の今後について<br>学校再編に伴う空き施設の活用について、現在、検討を進めている(仮称)教育総合支援センターの整備スケジュールは。また、具体的にどのような機能を有するのか。<br>(教育長) | <p>(仮称) 教育総合支援センターの整備については、今年度中に旧平米小学校の新校舎部分の改修等に係る設計を行い、令和7年度中に工事を完了し、令和8年4月から一部先行して供用を開始することとしている。</p> <p>さらに、令和9年度には、新たに多目的スペース等を増築する第2期工事に取りかかり、遅くとも令和11年4月から全面供用を開始することができるようになりたい。</p> <p>これにより、小学生から中学生まで幅広い多様なニーズに対応し、近年、増加傾向にある小学生の不登校児童も含めた居場所づくりや、一人ひとりに応じた活動や学びの場を提供することが可能となる。</p> <p>また、新たに、特別な支援を必要とする児童生徒への支援や、保護者や学校からの相談の常時受付、きずな子ども発達支援センターとの連携強化、さらには、外国にルーツを有する子どもたち一人ひとりの</p> | 代表 |

|   |                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
|---|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|   |                                                                                | <p>実態に応じた日本語指導や学校生活への適応指導等の機能を設けることとしている。</p> <p>(仮称) 教育総合支援センターは、これまで本市になかった新たな教育施設であり、その機能を十分に生かし、誰ひとり取り残すことなく、子どもたちの健やかな成長と自立をしっかりと支えてまいりたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |
| 2 | <p>・児童生徒に対するジェンダー平等の学校教育の状況は。</p> <p>(教育長)</p>                                 | <p>各学校においては、社会科、家庭科、道徳科、特別活動等、あらゆる教育活動を通じて、人権の尊重や男女平等、男女が共同して社会参画することの重要性などについての学習や取組みを進めている。</p> <p>例えば、保健体育科の授業においては、性とどう向き合うかを学習する中でジェンダーについて考える活動を、社会科や道徳科の授業においては、基本的人権や男女相互の理解と協力について、また、家庭科では、男女が協力して家庭を築くことの大切さについて学んでいる。</p> <p>さらに、男女相互の理解を深め、互いに協力し尊重し合うことができる学校生活の在り方について各学級で話し合う活動を行っており、こうした取組みをもとに、運動会のリレーにおいて走順を決める際に、男女の区別をなくし、児童生徒の工夫を生かすようにした学校もある。</p> <p>また、近年では、生徒会が中心となり、制服について保護者の意見も取り入れながら、スカートとスラックスを自由に選択できるようにするなど、ジェンダー平等の視点から複数の学校で見直しが進められている。</p> <p>今後とも、子どもたちに人権意識や男女共同参画に対する正しい理解が得られるよう、様々な機会を捉えて、ジェンダー平等の観点からの教育活動の充実を図ってまいりたい。</p> | 一括 |
| 3 | <p>・避難所運営について本市の小中学校において、避難所開設対応マニュアルの作成が進んでいると仄聞しているが、その内容は。</p> <p>(教育長)</p> | <p>今般の能登半島地震において学校を避難所として開設した際には、教職員への連絡体制や、避難所として使用できる教室が分かりにくいことなどの課題が明らかになった。このことを踏まえ、市の防災担当部局と連携し、7月には校長対象の防災研修会を開催し、避難所の開設基準や開設の際に学校が協力する内容等について共通理解を図るとともに、「避難所開設対応マニュアル」の改善点について確認を行った。</p> <p>新たな「避難所開設対応マニュアル」においては、教職員の参集基準を明確にするとともに、地域の関係者との連絡体制や教職員の役割分担のほか、避難場所として使用することができる教室や設備を明示するなど改善を図ったところである。</p>                                                                                                                                                                                                                                                   | 一括 |
| 4 | <p>突発的な災害の初動期において、学校施設が避難所の場合、施設</p>                                           | <p>校長、または教頭は、震度5弱以上の地震発生時、学校へ自主参集し、学校施設や設備の安全を確認した上で、災害対策本部の指示のも</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 一括 |

|   |                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|   | 管理者である校長、教頭の役割は。また、不在の際の対応は。<br>(教育長)                                                          | と、市の避難所運営要員や地域の自主防災組織等と連携しながら、速やかに開設準備に協力することとなっている。<br>しかしながら、今般の能登半島地震の際には、校長・教頭がすぐに学校に駆け付けることができず不在であった場合もみられたことから、近隣に居住する教職員を学校初動対応班に加えるよう見直し、いち早く避難所を開設できるよう体制の整備を図ったところである。                                                                                                                                               |    |
| 5 | ・平和教育について<br>(2) 平和教育の一環として小・中学校で戦争や被爆の実相を学ぶため、戦争体験者や被爆体験者などによる「語りべ」に取り組んではと考えるが、見解は。<br>(教育長) | 平和教育を進めるに当たっては、戦争体験を直接聞いたり、戦時下の生活用品等を実際に目で見て確かめたりする学習の機会をもつことは有意義である。<br>各学校ではこれまでも、修学旅行等の機会に、現地において語りべの方の体験談を聞いたり、富山空襲を体験された方を招いて講話を聞いたりする機会を設けてきた。このほか、オンライン会議システムを通して被爆二世の話を聞いたり、インターネット上のデジタルコンテンツから被爆体験者の証言動画を視聴したりするなど、各学校の実情に応じた平和学習に取り組んでいる。<br>今後とも、子どもたちが平和の大切さを理解し、平和な社会を築く態度を育み、平和を願う心が受け継がれていくよう、平和教育の推進に努めてまいりたい。 | 一括 |

## 生涯学習・スポーツ課

|   | 質問                                                                                                      | 答弁                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 方式 |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 | ・公共施設の今後について<br>(1) 体育・スポーツ施設について<br>①高岡市教育将来構想検討会議において協議が進む中、スポーツ施設のあり方を、本市として今後どのように描いていくのか。<br>(教育長) | 本市においては、第2期高岡市スポーツ推進プランの基本理念『スポーツで創る明るく元気な「人」と「まち」』の実現に向けて、各種施策に取り組んでいるところであり、そうした中、スポーツ施設の果たす役割は非常に重要であると考えている。<br>スポーツ施設の充実に向けた取り組みの一例として、現在スポーツコアにおいて、イベント広場のリフレッシュを図るため、昨年度の照明設備設置工事に引き続き、今年度は、人工芝設置工事を行っているところである。完成後は天然芝の養生期間が不要となることや夜間利用も可能となることから、更なる利用増に繋がるものと期待している。<br>現在、教育将来構想検討会議において「体育施設のあり方」について検討していただいているところであり、近く報告書を提出していただける予定である。<br>教育委員会としては、その報告書の内容を十分参考にさせていただきながら、速やかに市の体育館施設の具体的な整備計画の策定に着手してまいり。 | 代表 |

|   |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 2 | ②新総合体育館への本市の想いは。<br>(市長)                                                                                                                   | <p>現在本市においては、令和6年能登半島地震からの復旧・復興、公共施設の再編、カーボンニュートラルの取り組みやこどもをまんやかに据えた施策の展開などを推進しているところであるが、新総合体育館の整備については、本市におけるスポーツ振興のみならず、交流人口の拡大や地域活性化など更なる高岡の発展のためにも、無くてはならない施設であると考えている。</p> <p>現在、教育将来構想検討会議において「体育施設のあり方」について検討していただいているところであり、近く報告書を教育委員会に提出していただけると伺っている。</p> <p>この報告書の内容も十分参考にさせていただきながら、新総合体育館整備を視野に入れた、将来を見通せる市の体育館施設の具体的な整備計画を策定していきたい。</p> | 代表 |
| 3 | ・総合体育館について<br>(1) 本年9月中に高岡市教育将来構想検討会議から、これまでの検討内容等を踏まえた報告書が提出されると仄聞しているが、これまでの検討で見いだされた方向性や同会議の意見を踏まえ、現段階における市の総合体育館の整備方針に変更はあるか。<br>(教育長) | <p>現在、高岡市における教育の将来構想の策定に関し、有識者の意見を聴取する教育将来構想検討会議において、「体育施設のあり方」について検討していただいているところであり、この9月中には、最終的な報告(書)を受けることとなっている。</p> <p>教育委員会としては、この報告書を受けた後、具体的な整備計画の策定に着手することとしており、(議員お尋ねの)総合体育館の整備方針についても、報告書の内容を踏まえながら検討してまいりたい。</p>                                                                                                                             | 代表 |
| 4 | (2) 凍結されている総合体育館の実施設設計では、サブアリーナも併設することとされている一方で、竹平記念体育館の横にサブアリーナを設けるメリットは。<br>(教育長)                                                        | <p>一般的には、体育館にメインアリーナとサブアリーナが併設されていることのメリットとしては、大会を開催する場合において、複数の試合を同時に行えることで、会場を分散させる必要がなく効率的に大会運営ができることや、メインとサブアリーナを別々に利用できることにより、利用の幅が広がり、様々な利用目的を持った方が集まることが可能になることがあげられる。</p> <p>教育将来構想検討会議において委員から、「現状では、竹平記念体育館の中長期的な利用が可能であり、最大限に利活用することを前提とすれば、新たな体育館建設までの段階的な対応としてサブアリーナを併設することが考えられる」とのご意見があったのも、こういったメリットを踏まえてのことであると考えている。</p>              | 代表 |
| 5 | (3) 現在の東洋通信スポーツセンターの老朽化を鑑みると、代替施設の早急な対応が喫緊の課題であり、改めて、                                                                                      | <p>本市の体育施設として、東洋通信スポーツセンターは、昭和35年に建設され60年以上経過しており、この状況を踏まえると、今後、中長期的な利用が見込めない状況であることから、早い段階での代替施設となる新しい体育館整備の検討が必要である。</p>                                                                                                                                                                                                                              | 代表 |



|   |                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |    |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|   | 総合体育館の早期建設に向けた決意は。<br>(市長)                                                                                                                             | <p>現在、教育将来構想検討会議において、総合体育館を含め、本市における「体育施設のあり方」について検討していただいているところであり、近く報告書を教育委員会に対して提出していただけると伺っている。</p> <p>その後、報告書の内容も十分参考にさせていただきながら、教育委員会とも協議を重ね、将来を見通した市の総合体育館整備を含めた体育館施設の具体的な整備計画をできるだけ早く示してまいります。</p>                                                                               |    |
| 6 | <p>・関係人口の取り組みの推進について</p> <p>富山マラソンを通じて、もう一度高岡を走りたいと思わせる取り組みを進めるべきでは。</p> <p>(教育長)</p>                                                                  | <p>第2期高岡市スポーツ推進プランでは、基本施策の一つに「スポーツイベント等を活かした地域の活性化」を掲げており、その中でも富山マラソンでは、本市をスタート地点として、「高岡大仏」、「山町筋」や「古城公園」の観光名所を巡るコースとなっており、全国各地から集まったランナーに高岡の魅力を感じていただいているところである。</p> <p>本市では引き続き、富山マラソン実行委員会等の関係団体と連携を図りながら、ランナーに高岡の魅力を一層感じていただけるよう工夫し、より多くの人に再び高岡を訪れてみたい、走ってみたいと思っただけできるよう努めてまいります。</p> | 一括 |
| 7 | <p>・公共施設等の在り方</p> <p>(1) 竹平記念体育館サブアリーナ</p> <p>①高岡市教育将来構想検討会議において、竹平記念体育館にサブアリーナを併設するという意見もあるが、工事費にかかる資材費や人件費が高騰する中、どれぐらいの予算を想定しているのか。</p> <p>(教育長)</p> | <p>教育将来構想検討会議において委員から、「現状では、竹平記念体育館の中長期的な利用が可能であり、最大限に利活用することを前提とすれば、新たな体育館建設までの段階的な対応としてサブアリーナを併設することが考えられる」とののご意見があった。</p> <p>教育委員会では、今後、教育将来構想検討会議から報告書を受けた後、報告書の内容も十分参考にさせていただきながら、今後の対応について検討していくこととしており、その中で整備に必要な経費について試算をしていくことになるものと考えている。</p>                                  | 一括 |
| 8 | <p>②建設するとした場合、補助金や有利な起債を活用する考えは。</p> <p>(教育長)</p>                                                                                                      | <p>本市の健全な財政運営を維持していくためには、補助金や有利な起債を活用していくことは当然のことである。体育館施設を整備する場合においても、補助金や有利な起債など、積極的に活用して財源の確保に努めてまいります。</p>                                                                                                                                                                           | 一括 |
| 9 | <p>③どの種目のスポーツを想定してサブアリーナを建設するのか。</p> <p>(教育長)</p>                                                                                                      | <p>一般的には、体育館にメインアリーナとサブアリーナが併設されていることで、会場を分散させる必要がなく効率的に大会運営ができることや、メインとサブアリーナで異なる競技やイベントを同時に行うことができるなど、利用の幅が広がるといったメリットがある。</p> <p>施設の規模や機能については、教育将来構想検討会議の報告書をいただいた後に具体的に検討していくこととなる。</p>                                                                                             | 一括 |

|    |                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |    |
|----|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|    |                                                                            | <p>その際、少なくとも現在本市の体育施設で開催されているスポーツ大会や各種イベント等が、引き続き開催することができるよう、施設の規模や機能について検討してまいりたい。</p>                                                                                                                                                                                                   |    |
| 10 | <p>④現在の竹平記念体育館の駐車スペースは何台か。また、サブアリーナ併設に伴い、駐車スペースの増減に影響はあるのか。<br/>(教育長)</p>  | <p>現在の竹平記念体育館の敷地内には、乗用車 123 台及びバス 10 台分の駐車スペースが確保されている。</p> <p>教育将来構想検討会議において、竹平記念体育館にサブアリーナを併設する意見が提案されたが、少なくとも現在の駐車台数を維持することを基本としたご提案であったと認識をしている。</p>                                                                                                                                   | 一括 |
| 11 | <p>⑤竹平記念体育館にサブアリーナを建設し、その後、総合体育館を建設するのは二重投資にならないか懸念されるが、見解は。<br/>(教育長)</p> | <p>現在、教育将来構想検討会議において、今後の体育施設のあり方について検討していただいております、その中で、東洋通信スポーツセンターの中長期的な利用が見込めないことを踏まえると、早い段階での代替施設の検討が必要であるとのご意見をいただいております。</p> <p>近く最終報告書を受けることとなっているが、(教育委員会としては)この報告書を受けた後に、体育施設の具体的な整備計画を策定してまいります。</p> <p>その際、今後の市全体の体育館施設の利用状況、施設の状況、市の財政運営も中長期的に見据えながら、投資効果についても十分に検討してまいります。</p> | 一括 |
| 12 | <p>・東洋通信スポーツセンター<br/>①修繕の進捗状況は。<br/>(教育長)</p>                              | <p>東洋通信スポーツセンターについては、令和 6 年能登半島地震の発災以降、天井からの落下物の危険性があることから、利用者の安全確保対策を終えるまでの間、臨時休館としているところである。</p> <p>現在、施設の再開に向けて、天井等の調査を行い、落下の危険性や損傷が確認された天井材の落下防止措置を行っている最中であることから、現時点では、明確にいつから一般開放できるかをお示しできないところである。</p> <p>施工業者とも調整を図りながら、一日でも早く一般開放ができるよう努めてまいりたい。</p>                             | 一括 |
| 13 | <p>②老朽化が進んでいるが、今後の対応方針は。<br/>(教育長)</p>                                     | <p>教育将来構想検討会議から、本市における「体育施設のあり方」に関する報告書を提出していただいた後、その内容も十分参考にさせていただきながら、東洋通信スポーツセンターへの対応も含め、将来を見通した体育館施設の具体的な整備計画をできるだけ早く示してまいります。</p>                                                                                                                                                     | 一括 |
| 14 | <p>・平和教育について<br/>(1) 本市として国に対して、核兵器禁止条約に署名・批准するよう</p>                      | <p>現在、核兵器禁止条約の批准国は 70 か国に到達している。このような中で、本市が平成 26 年から加盟している「平和首長会議」では、毎年 11 月に核兵器廃絶に向けた取組の推進についての要請文を日本</p>                                                                                                                                                                                 | 一括 |

|    |                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                            |    |
|----|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|    | 働きかけてはと考えるが、見解は。<br>(市長)                                                     | 政府に提出しており、核兵器禁止条約の締約国になるよう継続して要請している。<br>今後とも、平和な社会の実現に寄与していきたい。                                                                                                                                                                                           |    |
| 15 | (3) 原水爆禁止高岡協議会が、令和7年度に被爆80周年の行事に取り組む予定であることから、本市としても共催してはと考えるが、見解は。<br>(教育長) | <p>昭和29年に原水爆禁止高岡協議会が設立されて以降、本市では、被爆体験者による講演会や原爆や戦争に関する映画上映会の開催のほか、毎年の被爆写真パネル展、平和チャリティ色紙展、平和祈念式の開催、街頭活動など、数々の取り組みへの支援を行ってきたところである。</p> <p>原水爆禁止高岡協議会では、現在、被爆80周年という節目の年を迎える令和7年度事業の検討を行っていると同っている。本市としては、協議会の事業に対してどのような支援ができるのか、話を伺いながらできる限り協力してまいりたい。</p> | 一括 |